

エレミヤ書

アーモンド - シャーテー - シヤード  
見張つては - シヤーカド (見見てはいふ)  
(Ps127: 王を守る者の見張り)

…みことばと実行しようとして…

トヨイロハモトイ 神のとはきはひついて。預言者の働き。

(ルカ1: サザンヤの預言)

主が選んで  
ことば (口)  
(おもい主)  
・ 何がおもい。  
団との預言者 王の祭司。

11-12	14-10
アーモンド (見張つては)	エレミヤと 預言者となる
17-19	13-16
エレミヤと 城壁にあす	立つかま

北國にあって  
さばかれる。

湯屋禮はす。

主が母を連れて  
ことばの内容。

「(ア)には、口がきてます。」 (ア)アースマヨハネ(祭司)。ハイル!

14:15-17

主がおがらの預言者。

(ア)モンド?

1 ベニヤミンの地アナトテの祭司のひとりである、ヒルキヤの子エレミヤの言葉。  
2 アモンの子、ユダの王ヨシヤの時、すなわちその治世の十三年に、主の言葉がエレミヤに臨んだ。  
3 その言葉はまたヨシャの子、ユダの王エホヤキムの時にも臨んで、ヨシャの子、ユダの王ゼデキヤの十一年の終り、すなわちその年の五月にエルサレムの民が捕え移された時にまで及んだ。

4 主の言葉が私に臨んで言う、  
5 「私はあなたをまだ母の胎につくらないさきに、  
あなたを知り、  
あなたがまだ生れないさきに、  
あなたを聖別し、  
あなたを立てて万国の預言者とした」。

香

口に吹く

早くから

6 その時は言った、「ああ、主なる神よ、私はただ者者にすぎず、どのように語つてよいか知りません」。

7 しかし主は私に言られた、「あなたはただ若者にすぎない」と言つてはならない。

8 彼らを恐れではないならない、

だれにでも、すべて私がつかわす人へ行き、

あなたに命じることをみな語らなければならぬ。

9 彼らを恐れではないならない、

だれにでも、すべて私がつかわす人へ行き、

あなたに命じることをみな語らなければならぬ。

10 見よ、私はきょう、

あなたを万民の上と、万国之上に立て、

あなたに、あるいは抜き、あるいは倒し、

あるいは滅ぼし、あるいはこわし、

あるいは建て、あるいは植えさせる」。

11 主の言葉がまた私に臨んで言う、「エレミヤよ、あなたは何を見るか」。私は答えた、「あめんどうの枝を見ます」。

12 主は私に言われた、「あなたの見たとおりだ。私は自分

の言葉を行おうとして見張つているのだ」。

アロン杖。  
(アロンと管人たる預言者)

出4: 11-16  
モーセ。

17 しかしあなたは腰に帯して立ち、私が命じるすべての事を彼らに告げよ。彼らを恐れではなくならない。さもないと、私は彼らの前であなたをあわせてさせる。

18 見よ、私はきょう、この全国と、ユダの王と、そのつかさと、その祭司と、その地の民の前に、あなたを堅き城、鉄の柱、青銅の城壁とする。

19 彼らはあなたと戦うが、あなたに勝つことはできない。私はあなたと共にいて、あなたを救うからである」と主は言われる。

13 主の言葉がふたたび私に臨んで言う、「あなたは何を見ますか」。私は答えた、「煮え立つておなべを見ます」。北からこちらに向かっています」。す。北からこちらに向かっています」。

14 主は私に言われた、「災が北から起つて、この地に住むすべての者の上に臨む」。

15 主は言われる、「見よ、私は北の国々のすべての民を呼ぶ。彼らは来て、エルサレムの門の入口と、周囲のすべての城壁、およびエダのすべての町々に向かつて、おののその座を設ける。

16 私は、彼らが私を捨てて、すべての悪事を行つたゆえに、私のさばきを彼らに告げる。彼らは他の神々に香をたき、自分の手で作つた物を拝したのである。

1



何を語るか。

## エレミヤ書2

1 主の言葉が私に臨んで言う、

2 「行つて、エルサレムに住む者の耳に告げよ、主はこう

言われる、私はあなたの若い時の純情、

花嫁の時の愛、

荒野なる、種まかぬ地で、

3 イスラエルは主のために聖別されたもの、

その刈入れの初穂である。

すべてこれを食べる者は罪せられ、

災にあう」と主は言われる。

6 私に従つたことを覚えていて、

7 イスラエルは主のために聖別されたもの、

その刈入れの初穂である。

すべてこれを食べる者は罪せられ、

災にあう」と主は言われる。

## エレミヤ書2

4 ヤコブの家とイスラエルの家のすべてのやからよ、主の

言葉を聞け。

5 主はこう言われる、「あなたがたの先祖は、

私になんの悪い事があるのを見て、

私がから遠ざかり、

むなしいものに従つて、むなしくなつたのか。

6 彼らは言わなかつた、

「われわれをエジプトの地より導き出し、

荒野なる、穴の多い荒れた地、

かわいた濃い暗黒の地、

人の通らない、人の住まない地を

通らせた主はどこにおられるか」と。

7 私はあなたがたを導いて豊かな地に入れ、

その実と良い物を食べさせた、

しかしあなたがたはここにはいつて、

私の地を汚し、

私の嗣業を憎むべきものとした。

8 祭司たちは、

「主はどこにおられるか」と言わなかつた。

律法を扱う者たちは私を知らず、

つかさたちは私にそむき、

預言者たちはパアルによつて預言し、

益なき者に従つて行つた。

9 それゆえ、私はなお、あなたがたと争う、

またあなたがたの子孫と争う」と主は言われる。

## エレミヤ書2

10 「あなたがたはクプロの島々に渡つてみよ、

また人をケダルにつかわして、

このようなことがかつてあつたかを

つまびらかに、しらべてみよ。

11 その神を神ではない者に取り替えた国があろうか。

ところが、私の民はその栄光を

益なきものと取り替えた。

12 天よ、この事を知つて驚け、

すなわち生ける水の源である私を捨てて、

おののけ、いたく恐れよ」と主は言われる。

13 「それは、私の民が

二つの悪しき事を行つたからである。

14 天よ、この事を知つて驚け、

すなわち生ける水の源である私を捨てて、

自分で水ためを掘つた。

それは、こわれた水ためで、

水を入れておくことのできないものだ。

15 しかしは彼に向かつてほえ、

その声を高くあげて、彼の地を荒した。

その町々は滅びて住む人もない。

16 メンピスとタバネスの人々もまた、

あなたのかしらの冠を碎いた。

17 あなたの神、主があなたを道に導かれた時、

あなたは主を捨てたので、

この事があなたに及んだのではないか。

18 あなたがナイルの水を飲もうとして、

エジプトへ行くのは何のためか。

あなたは主を捨てたので、

あなたがナイルの水を飲もうとして、

アッスリヤへ行くのは何のためか。

あなたがナイルの水を飲もうとして、

背信。

主を捨てて 生ける水  
エジプト・アシリアに轉じ  
川の水



## エレミヤ書2

20 「あなたは久しい以前に自分のくびきを折り、自分のなわめを断ち切つて、  
「私は仕えることをしない」と言った。

そして、すべての高い丘の上と、  
すべての青木の下で、

遊女のように身をかがめた。

21 私はあなたを、まったく良い種の  
すぐれたぶどうの木として植えたのに、

どうしてあなたは変つて、  
悪い野ぶどうの木となつたのか。

22 たといソーダをもつて自ら洗い、  
また多くの灰汁を用いても、

あなたの悪の汚れは、なお私の前にある」と  
主なる神は言われる。

23 「どうしてあなたは、「私は汚れていない、  
パアルに従わなかつた」と言うことができようか。

谷の中でのあなたの行いを見るがよい。

あなたがしたことを知るがよい。

あなたは御しがたい若いらくであつて、  
その道を行きつもどりつする。

24 あなたは荒野に慣れた野の離ろばである、  
その欲情のために風にあえぐ。

その欲情をだれがとどめることができようか。  
すべてこれを尋ねる者は苦労するにおよばない、

その月であればこれに会うことができる。  
25 あなたの足が、はだしにならないよう、  
のどが、かわかないようにせよ。

ところが、あなたは言つた、「それはだめだ、  
私は異なる國の者を愛して、  
それに従つて行こう」と。

## エレミヤ書2

26 盗びとが捕えられて、はずかしめを受けるように、  
イスラエルの家は、はずかしめを受ける。

彼らはその王も、そのつかさも、  
その祭司も、その預言者もみなそのとおりである。

27 彼らは木に向かつて、  
「あなたは私の父です」と言い、

また石に向かつて、  
「あなたは私を生んでくださつた」と言つ。

彼らは背を私に向けて、  
立つてもらつがよい。

ユダよ、あなたの神々は、  
あなたの町の数ほど多いからである。  
しかし彼らが災にあう時は、  
どこにいるのか。

あなたが災にあう時、  
もし彼らがあなたを教えるなら、  
立つてもらつがよい。

あなたの町の数ほど多いからである。

## エレミヤ書2

28 あなたがたは、なぜ私と争うのか。  
あなたがたは皆私にそむいている」と  
主は言われる。

30 「私があなたがたの子どもたちを  
打つたのはむだであった。

彼らは戒めを受けず、  
あなたがたのつるぎは、  
たけりたつしののように、預言者たちを滅ぼした。

31 あなたがたこの世代の人よ、  
主の言葉を聞け。

私はイスラエルにとつて、  
荒野であつたであろうか。

暗黒の地であつたであろうか。

それならなぜ、私の民は「われわれは自由だ、  
もはやあなたのところへは行かない」と言うのか。

32 おとめはその飾り物を忘れることができようか。  
花嫁はその帯を忘れることができようか。

ところが、私の民の、  
私を忘れた日は数えがたい。

33 あなたは恋人を尋ねて、  
いかにも巧みにその方に足を向ける。

それゆえ悪い女さえ、あなたの道を学んだ。

34 また、あなたの着物のすそには、  
罪のない貧しい人の命の血がついている。

あなたは彼らが押し入るのを見たのではない。  
しかも、すべてこれらの事にもかかわらず、

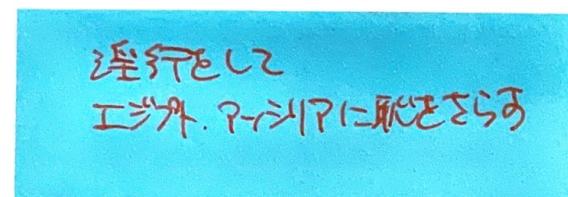
35 あなたは言う、「私は罪がない。彼の怒りは、  
決して私に臨むことがない」と。

あなたが「私は罪を犯さなかつた」と  
言うことによつて、私はあなたをさばく。

36 あなたはなぜ軽々しくさまよつて、  
その道を変えようとするのか。

あなたはアッスリヤに、はずかしめを受けたよう、  
エジプトにもまた、はずかしめを受ける。

37 あなたはまた両手を頭に置いて、そこから出て来る。  
主があなたの頬みとする者どもを捨てられたので、  
あなたは彼らによつて榮えることがないからだ。



帰子 swb subu / 7725

背信 swb sobabim / 7726

罪と恥辱をやめよう

### エレミヤ書3

1もし人がその妻を離婚し、

女が彼のもとを去つて、他人の妻となるなら、

その人はふたたび彼女に帰るであろうか。

その地は大いに汚れないであろうか。

あなたは多くの恋人と姦淫を行つた。

しかも私は帰らうといふのか」と主は言われる。

2「目をあげてもろもろの裸の山を見よ、

姦淫を行わなかつた所がどこにあるか。

荒野にいるアラビヤびとがするように、

あなたは道のかたわらに座して恋人を待つた。

あなたは姦淫の悪事をもつて、この地を汚した。

3それゆえ雨はとどめられ、春の雨は降らなかつた。

しかもあなたには遊女の類があり、

少しも恥じようとはしない。

4今あなたは、私を呼んで言つたではないか、

わが父よあなたは私の若い時の友です。

5永久に怒られるのですか、

終りまで慣られるのですか」と。

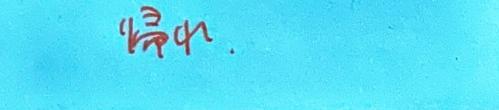
見よ、あなたはこう言つたけれども、

なしうるかぎりのもうもろの悪を行つた」。

恥辱のない

二十九節 背信の子らよ

帰れ。



25とイスラエルがひとつになります。

### エレミヤ書3

14主は言われる、背信の子らよ、帰れ。

私はあなたがたの夫だからである。

町からひとり、氏族からふたりを取りて、

あなたがたをシオンへ連れて行こう。

私は知識と悟りとをもつてあなたがたを養う。

15私は言われる、あなたがたが地に増して多くなるとき、

彼らは自分の心にかなう牧者たちをあなたがたに与える。

16主は言われる、あなたがたが地に増して多くなるとき、

その日には、人々はかさねて「主の契約の箱」と言わ

ず、これを思い出さず、これを覚えず、これを尋ね

ず、これを作らない。

17そのときエルサレムは主のみ位となえられ、万国の民

はここに集まる。すなわち主の名のもとにエルサレム

に集まり、かさねて、かたくなに自分の悪い心に従う

ことはしない。

18その日にはユダの家はイスラエルの家と一緒になり、

北の地から出て、私があなたがたの先祖たちに嗣業と

して与えた地に共に来る。

19どのようにして、

あなたを私の子どもたちのうちに置き、

万国のうちで最も美しい嗣業である良い地を

あなたに与えようかと、私は思つていた。

私はまた、あなたがたが私を「わが父」と呼び、

私に従つて離れるとはないと思つていた。

20イスラエルの家よ、

背信の妻が夫のもとを去るよう、

たしかに、あなたがたは私にそむいた」と

主は言われる」。

21裸の山の上に声が聞える、

イスラエルの民が悲しみ祈るのである。

彼らが曲つた道に歩み、その神、主を忘れたからだ。

山の上の騒ぎも同じです。

まことに、イスラエルの歎は

われわれの神、主にあるのです。

22背信の子どもたちよ、帰れ。

私はあなたがたの背信をいやす」。

「見よ、われわれはあなたのものと帰ります。

あなたはわれわれの神、主であらせられます。

23まことに、もろもろの丘は迷いであり、

山の上の騒ぎも同じです。



私はあなたがたの背信をいやす」。

13あなたは自分の罪の少ないことを示した。

12このすべての事があつても、なおその不信の姉妹ユダは

真心をもつて私に帰らない、ただ偽つているだけだ

と主は言われる。

11主はまた私に言われた、「背信のイスラエルは不信のユ

ダよりも自分の罪の少ないことを示した。

10このすべての事があつても、なおその不信の姉妹ユダは

9彼女にとって姦淫は軽いことであつたので、石と木とに姦淫を行つて、この地を汚した。

11主はまた私に言われた、「背信のイスラエルは不信のユダよりも自分の罪の少ないことを示した。

10このすべての事があつても、なおその不信の姉妹ユダは

真心をもつて私に帰らない、ただ偽つているだけだ

と主は言われる。

11主はまた私に言われた、「背信のイスラエルは不信のユ

ダよりも自分の罪の少ないことを示した。

10このすべての事があつても、なおその不信の姉妹ユダは

9彼女にとって姦淫は軽いことであつたので、石と木とに姦淫を行つて、この地を汚した。

11主はまた私に言われた、「背信のイスラエルは不信のユダよりも自分の罪の少ないことを示した。

10このすべての事があつても、なおその不信の姉妹ユダは

真心をもつて私に帰らない、ただ偽つているだけだ

と主は言われる。

11主はまた私に言われた、「背信のイスラエルは不信のユ

ダよりも自分の罪の少ないことを示した。

10このすべての事があつても、なおその不信の姉妹ユダは

9彼女にとって姦淫は軽いことであつたので、石と木とに姦淫を行つて、この地を汚した。

**エレミヤ書4**

3 主はユダの人々とエルサレムに住む人々に  
こう言われる。  
「あなたがたの新田を耕せ、  
いばらの中に穂をまくな。

4 ユダの人々とエルサレムに住む人々よ、  
あなたがたは自ら割礼を行つて、  
主に属するものとなり、  
自分の心の前の皮を取り去れ。  
さもないと、あなたがたの惡しき行いのために  
私の怒りが火のように発して燃え、  
これを消す者はない」。

## 寒いせみ

## 荒布と着子

立火燃えうねりがて子。  
内省の者。悔改め嘆け。

ラーハ：角笛。<showphar

出20,ヨハニ6:,1便15:28

→樂祭の笛

戦いのときの声  
(勝利の音)

美しい=悪

Vaan

**エレミヤ書4**

5 ユダに告げ、エルサレムに示して言え、  
「国中にラッパを吹き、大声に呼ばわつて言え、  
『集まれ、われわれは堅固な町々へ行こう』と。  
6 シオンの方を示す旗を立てよ。  
避難せよ、とどまつてはならない、  
私が北から災し

7 大きなる破滅をこさせんからだ。  
7 ししはその森から出てのぼり、  
彼はあなたの國を荒そうとして、  
すでにその所から出てきた。  
あなたの町々は滅ぼされ、  
住む者もなくなる。  
8 このために、あなたがたは荒布を身にまとつて、  
悲しみ嘆け。

9 主の激しい怒りが、  
まだわれわれを離れないからだ」。  
9 主は言われる、「その日、王と君たちとはその心を失  
い、祭司は驚き、預言者は怪しむ」。

**エレミヤ書4**

10 そこで私は言つた、「ああ主なる神よ、まことにあなた  
はこの民とエルサレムとをまつたく歎かれました。  
「あなたがたは安らかになる」と言われましたが、つ  
るぎが命にまでも及びました」。

11 その時この民とエルサレムとはこう告げられる、「熱い  
風が荒野の裸の山から私の民の娘のほうに吹いてく  
る。これはあおぎ分けるためではなく、清めるためで  
もない」。

12 これよりもなお激しい風が私のために吹く。いま私は彼  
らにさばきを告げる」。

13 見よ、彼は雲のように上つてくる。  
その戦車はつむじ風のよう、  
その馬はわしの飛ぶよりも速い。  
ああ、われわれはわざわいだ、  
われわれは滅ぼされる。

14 エルサレムよ、あなたの心の悪を洗い清めよ、  
そうするならば救われる。  
悪しき思いはいつまで  
あなたのうちにとどまるのか。

15 ダンから告げる声がある、  
エフライムの山から災を知らせている。

**悪を洗い清めよ**



## エレミヤ書4

22 「私の民は愚かであつて、私を知らない。  
彼らは愚鈍な子どももらで、悟ることがない。  
彼らは惡を行うのにさといけれども、  
善を行ふことを知らない」。

23 私は地を見たが、

それは形がなく、またむなしかつた。

天をあおいだが、そこには光がなかつた。

24 私は山を見たが、みな震え、

空の鳥はみな飛び去つていた。

25 私は見たが、豊かな地は荒れ地となり、

その丘は動いていた。

26 私は見たが、豊かな地は荒れ地となり、

そのすべての町は、主の前に、

その激しい怒りの前に、破壊されていました。

27 それは主がこう言われたからだ、「全地は荒れ地となる。しかし私はことくはこれを滅ぼさない」。

28 このために地は悲しみ、上なる天は暗くなる。

私がすでにこれを言い、これを定めたからだ。

私は悔いない、またそれをする事をやめない」。

## 天地の創造

29 どの町の人も、騎兵と射手の叫びのために  
逃げて森に入り、岩に上る。  
町はみな捨てられ、そこに住む人はない。  
30 ああ、荒された女よ、あなたが紅の着物をき、  
金の飾りで身をよそおい、  
目を塗つて大きくするのは、なんのためか。  
あなたが美しくしても、むだである。  
あなたの恋人らはあなたを卑しめ、  
あなたの命を求めている。

## 荒された女

## エレミヤ書4

善を行ふをほいひい  
24 すこづきの「悔い」

エルサレムのちまたを行きめぐり、  
見て、知るがよい。  
その広場を尋ねて、公平を行い、  
眞実を求める者が、ひとりでもあるか搜してみよ。  
あれば、私はエルサレムをゆるす。  
彼らは、「主は生きておられる」と言うけれども、  
実は、偽つて誓つたのだ。

## エレミヤ書5

## エレミヤ書5

3 主よ、あなたの目は、  
眞実を顧みられるではありませんか。

あなたが彼らを打たれても、痛みを覚えず、

彼らを滅ぼされても、懲しめを受けることを拒み、

その顔を岩よりも堅くして、

悔い改めることを拒みました。

4 それで、私は言つた、

「これらはただ貧しい愚かな人々で、  
主の道と、神のおきてを知りません。

5 私は偉い人たちの所へ行つて、彼らを滅ぼす。

彼らは主の道を知り、神のおきてを知っています」。

ところが、彼らも皆おなじように、くびきを折り、  
なわめを断つていた。

6 それゆえ林から、しづが出てきて彼らを殺し、  
荒野から、おおかみが出てきて彼らを滅ぼす。

ひょうは彼らの町々をねらつて、  
そこから出る者はみな襲われる。

彼らの罪が多く、  
その背信がはなはだしいからである。

7 「私はどうしてあなたを、  
ゆるすことができようか。

あなたの子どももは、私を捨てさり、  
神でもないものをさして誓つた。

私が彼らを満ち足らせた時、

彼らは淫淫を行ひ、遊女の家に群れ集まつた。

8 彼らは肥え太つた丈夫な雄馬のように、  
おののおの、いなないて隣の妻を慕う。

9 私はこれらのことのために、  
彼らを罰しないでいられようか。

10 10 このような国民にあだを返さないであろうか」と  
主は言われる。

あなたがたはユダのぶどうの並み木の間を、  
のぼつて行つて、滅ぼせ、

ただ、ことごとく滅ぼしてはならない。

その枝を切り除け、

主のものではないからである。

11 イスラエルの家とユダの家とは  
私にまつたく不信であつた」と主は言われる。

罰しない、復讐しない  
主任せらるまい

## 主の道を知らない、悔改めない

主と知らない愚者。  
背信と淫淫。



## エレミヤ書5

12 「彼らは主について偽り語つて言つた、  
「主は何事もなされない、  
災はわれわれに来ない、  
またるぎや、ききんを見ることはない。  
13 預言者らは風となり、彼らのうちに言葉はない。  
彼らはこのようになる」と」。

14 それゆえ万軍の神、主はこう言われる、  
「彼らがこの言葉を語つたので、  
見よ、私はあなたの口にある」。

15 私の言葉を火とし、この民をたきぎとする。  
火は彼らを焼き尽す」。

16 主は言われる、「イスラエルの家よ、  
見よ、私は遠い國の民を  
あなたがたのところに攻めこさせる。  
その國は長く統く國、古い國で、  
あなたがたはその國の言葉を知らず、  
人々の語るのを悟ることもできない。  
17 その簾は開いた墓のようであり、  
彼らはみな勇士である。

18 彼らはあなたが刈り入れた物と、  
あなたの糧食とを食ひ尽し、  
あなたのむすこ娘を食ひ尽し、  
あなたの羊と牛を食ひ尽し、  
あなたのぶどうの木といちじくの木を食ひ尽し、  
またつるぎをもつて、あなたが頬みとする  
堅固な町々を滅ぼす」。

19 主は言われる、「しかしその時でも、私はことごとくは  
あなたを滅ぼさない。  
あなたの民が、「どうしてわれわれの神、主はこれらの  
すべての事をわれわれになされたのか」と言うなら  
ば、あなたは彼らに答えなければならない、「あなた  
がたが私を捨てて、自分の地で異なる神々に仕えたよ  
うに、あなたがたは自分のものでない地で異邦の人々  
仕えるようになる」と」。

20 これをヤコブの家にのべ、  
またユダに示して言え、  
「愚かで、悟りもなく、  
耳があつても見えず、  
目があつても聞えず、  
これが永遠の限界として、

越えることができないようとした。  
波はさかまいても、勝つことはできない、  
鳴りわたつても、これを越えることはできない。  
21 「愚かで、悟りもなく、  
耳があつても見えず、  
これが永遠の限界として、

22 主は言われる、あなたがたは私を恐れないのか、  
私の前におののかないのか。  
私は砂を置いて海の境とし、  
これを永遠の限界として、

越えることができないようとした。  
波はさかまいても、勝つことはできない、  
鳴りわたつても、これを越えることはできない。  
23 ところが、この民には強情な、そむく心があり、  
彼らはわき道にそれで、去つてしまつた。

24 彼らは、「われわれに雨を与え、  
秋の雨と春の雨を時にしたがつて降らせ、  
われわれのために刈入れの時を定められた  
われわれの神、主を恐れよう」と  
その心のうちに言わないのである。

25 あなたがたのとがは、これらの事をしりぞけ、  
あなたがたの罪は、  
良い物があなたがたに来るのをさまたげた。  
26 わが民のうちに悪い者があつて、  
鳥をとる人のように身をかがめてうかがい、  
わなを置いて人を捕える。  
27 かごに鳥が満ちているように、  
彼らの家は不義の宝で満ちている。  
それゆえ、彼らは大いなる者、裕福な者となり、  
それを助けようとはせず、  
28 肥えて、つやがあり、  
その悪しき行いには際限がない。  
彼らは公正に、みなしごの訴えをさばいて、  
それゆえ、彼らは大いなる者、裕福な者となり、  
それを助けようとはせず、  
29 また貧しい人の訴えをさばかない。  
彼らを罰しないであろうか。  
私はこのようなる民に、  
あだを返さないであろうか」。

30 謙くべきこと、恐るべきことがこの地に起つてゐる。  
31 預言者は偽つて預言し、  
祭司は自分の手によつて治め、  
わが民はこのようにすることを愛してゐる。  
しかしあなたがたは  
その終りにはどうするつもりか。

## エレミヤ書5

20 これをヤコブの家にのべ、  
またユダに示して言え、  
「愚かで、悟りもなく、  
耳があつても見えず、  
目があつても聞えず、  
これが永遠の限界として、

21 「愚かで、悟りもなく、  
耳があつても見えず、  
これが永遠の限界として、

22 主は言われる、あなたがたは私を恐れないのか、  
私の前におののかないのか。  
私は砂を置いて海の境とし、  
これを永遠の限界として、

越えることができないようとした。  
波はさかまいても、勝つことはできない、  
鳴りわたつても、これを越えることはできない。  
23 ところが、この民には強情な、そむく心があり、  
彼らはわき道にそれで、去つてしまつた。

24 彼らは、「われわれに雨を与え、  
秋の雨と春の雨を時にしたがつて降らせ、  
われわれのために刈入れの時を定められた  
われわれの神、主を恐れよう」と  
その心のうちに言わないのである。

25 あなたがたのとがは、これらの事をしりぞけ、  
あなたがたの罪は、  
良い物があなたがたに来るのをさまたげた。

26 わが民のうちに悪い者があつて、  
鳥をとる人のように身をかがめてうかがい、  
わなを置いて人を捕える。

27 かごに鳥が満ちているように、  
彼らの家は不義の宝で満ちている。  
それゆえ、彼らは大いなる者、裕福な者となり、  
それを助けようとはせず、  
28 肥えて、つやがあり、  
その悪しき行いには際限がない。

彼らは公正に、みなしごの訴えをさばいて、  
それゆえ、彼らは大いなる者、裕福な者となり、  
それを助けようとはせず、  
29 また貧しい人の訴えをさばかない。  
彼らを罰しないであろうか。  
私はこのようなる民に、  
あだを返さないであろうか」。

30 謙くべきこと、恐るべきことがこの地に起つてゐる。  
31 預言者は偽つて預言し、  
祭司は自分の手によつて治め、  
わが民はこのようにすることを愛してゐる。  
しかしあなたがたは  
その終りにはどうするつもりか。



## エレミヤ書6

1 ベニヤミンの人々よ、  
エルサレムの中から避難せよ。

2 私は美しい、たおやかなシオンの娘を滅ぼす。

3 牧者たちは、その群れをひきいて来て、  
彼女を攻め、彼女の周囲に天幕を張る。

4 群れはおののおのの所で草を食う。

5 「戦いを始め、彼女を攻めよ。  
立て、われわれは真昼に攻撃しよう」。

6 「わざわいなるかな、日ははや傾き、  
夕日の影は長くなつた」。

7 「立て、われわれは夜の間に攻撃しよう、  
そして彼女のもろもろの宮殿を破壊しよう」。

8 「あなたがたは彼女の木を切り倒し、  
エルサレムにむかつて星を築け。

9 「あなたがたはこの言葉を聞かれる、  
井戸に新しい水がわくようには、  
彼女はその懲りを常にあらたに流す。  
そのうちには暴虐と破滅とが絶えない。

10 「エルサレムよ、戒めを受けられよ。  
さもないと、私はあなたから離れ、  
あなたを荒れ地とし、住む人のない地とする」。

11 「ぶどうの残りを摘みとるように、  
イスラエルの残りの民をのこらず摘み取れ。  
ぶどうを摘みとる人のように、  
あなたの手をふたたびその枝に伸ばせ」。

12 「私はだれに語り、だれを戒めて、聞かせようか。  
見よ、彼らの耳は閉ざされて、聞くことができない。  
それゆえ、私の身には主の怒りが満ち、  
それを忍ぶのに、うみつかれている。

13 「それをちまたにいる子供らと、  
集まっている若い人々とに漏らせ。  
夫も妻も、老いた人も、  
年のひじょうに進んだ人も捕えられ、  
彼らの家と畠と妻とは共に他人に渡る。

14 「私が手を伸ばして、  
この地に住む者をつからである」と主は言われる。

15 「それは彼らが、小さい者から大きい者まで、  
みな不正な利をむさぼり、  
平安がないのに「平安、平安」と言つている。  
彼らは憎むべきことをして、恥じたであろうか。  
すこしも恥ずかしいとは思わず、  
また恥じることを知らなかつた。

16 「それゆえ彼らは倒れる者と共に倒れる。  
私が彼らを罰するとき、  
彼らは倒れる」と主は言われる。

## エレミヤ書6

16 主はこう言われる、  
「あなたがたはわかれ道に立つて、よく見、  
いにしえの道につき、  
良い道がどれかを尋ねて、その道に歩み、  
そしてあなたがたの魂のために、安息を得よ。

17 「しかし彼らは答えて、  
『われわれはその道に歩まない』と言つた。  
『われわれはあなたがたの上に見張ひとつを立て、  
テッパの音に気をつけよ』と言つた。

18 「しかし彼らは答えて、  
『われわれは気をつけることはしない』と言つた。  
『われわれは氣をつけることはしない』と言つた。

19 「しかし彼らは答えて、  
『われわれはこの民に災をくだす。  
それは彼らのたくらみの実である。

20 「彼らが私の言葉に氣をつけず、  
遠い國から、菖蒲が来るはなんのためか。  
あなたがたの犠牲もうれしくはない。

21 「それゆえ主はこう言われる、  
『見よ、私はこの民の前につまづく石を置く、  
人々は父も子も共にそれにつまずき、  
隣り人もその友も滅びる』」。

22 「主はこう言われる、  
『見よ、民が北の国から来る、  
大いなる国民が地の果から興る。

23 「彼らは弓とやりをとる。  
彼らは殘忍で、あわれみがなく、  
海のような響きを立てる。

24 「われわれはそのうわさを聞いて、  
手は弱り、子を産む女に臨むような  
悩みと苦しみとに捕えられた。

25 「煙に出でてはならない。  
また道を歩いてはならない。  
敵はつるぎを持ち、恐れが四方にあるからだ。

26 「わが民の娘よ、荒布を身にまとい、  
灰の中にまろび、  
ひとり子を失つた時のように、悲しみ、いたく嘆け。

27 「それをためすことができるようにするためである。  
減ぼす者が、にわかにわれわれを襲うからだ。

28 「私はあなたを民のうちに立てて、  
ためす者、試みる者とした。  
あなたが彼らの道を知り、  
歩きまわつて人をそしる。

29 「それをためすことができるようにするためである。  
彼らは青銅や鉄であつて、みな卑しいことを行う。

30 「ふいごは激しく吹き、  
鉛は火にとけて尽き、  
精錬はいたずらに進む。  
悪しき者がまだ除かれないので、  
彼らは捨てられた銀と呼ばれる」。

## 忠告を聞くよし

8:10-12

エレミヤ

北からエリザベスに成りが草子

## 忠告を聞くよし

エレミヤ

## 忠告を聞くよし

エレミヤ

・北からエリザベスに成りが草子

・エレミヤの忠告を聞くよし

北から

忠告を聞くよし

忠告を聞くよし

